

令和7年度版教師用指導書におきまして、下記の誤りがございました。ご指導の際、ご注意くださいようお願い申し上げます。

数学1【実践編】

ページ	誤	正
75 ページ 解答 問 15	(1) $x \times \frac{87}{1000} = \frac{87}{1000} x$ より, $\frac{87}{1000} x$ t (0.087x t)	(1) $x \times \frac{87}{1000} = \frac{87}{1000} x$ より, <u>約</u> $\frac{87}{1000} x$ t (<u>約</u> 0.087x t)
107 ページ 解答 Q	㊦ 等式の性質①を使っている(両辺に9を加えている)。 ① 等式の性質②を使っている(両辺から x をひいている)。	㊦ <u>①から②にするには、等式の性質①を使っている(両辺に9を加えている)。</u> <u>②から最後の式にするには、等式の性質④を使っている(両辺を4でわっている)。</u> ① <u>①から②にするには、等式の性質②を使っている(両辺からxをひいている)。</u> <u>②から最後の式にするには、等式の性質④を使っている(両辺を6でわっている)。</u>
174 ページ 解答 Q	正方形や長方形の2つの辺	正方形や長方形の <u>となり合う</u> 2つの辺

ページ	誤	正
177 ページ 解答 Q	点Pをℓ上のどの位置にとって円をかいても、 <u>2点A, B</u> を通る。	点Pをℓ上のどの位置にとって円をかいても、 <u>点B</u> を通る。
181 ページ 解答 問1	点Pと点Qは、点Oから等しい距離にある点である。また点Qと点Oは、点Pから等しい距離にある点である。よって、 $OP=PQ=QO$ であるから、 $\triangle OPQ$ は正三角形である。正三角形の <u>内角</u> はすべて 60° なので、この方法で 60° が作図できる。	点Pと点Qは、点Oから等しい距離にある点である。また点Qと点Oは、点Pから等しい距離にある点である。よって、 $OP=PQ=QO$ であるから、 $\triangle OPQ$ は正三角形である。正三角形の <u>角</u> はすべて 60° なので、この方法で 60° が作図できる。
201 ページ 解答 ④	直角三角形では、 外心は <u>斜辺AB</u> の中点にある。	直角三角形では、 外心は <u>直角に対する辺AB</u> の中点にある。
201 ページ 解答 ④	<u>鈍角三角形では</u> 、 外心は $\triangle ABC$ の外 部にある。	<u>三角形の1つの角が 90°より大きい場合</u> 、外心は $\triangle ABC$ の 外部にある。

ページ	誤	正
135 ページ 解答 	〈証明〉 点Pと点A，点 <u>P</u> と点 <u>B</u> ，点Qと点Bをそれぞれ結ぶ。	〈証明〉 点Pと点A，点 <u>A</u> と点 <u>Q</u> ，点Qと点Bをそれぞれ結ぶ。
157 ページ 解答 問 10(2)	(1)より， $\angle QAC = \angle BPC$ また， $\angle PAO = \angle PAC - \angle QAC$ だから， $\angle PAO + \angle OPA$ $= \angle PAC - \angle QAC + \angle APC + \angle BPC$ $= \angle PAC + \angle APC$ $= \angle AOB$ 削除 $= 120^\circ$ $\angle AOP = 180^\circ - \underline{\angle AOB}$ $= 60^\circ$	(1)より， $\angle QAC = \angle BPC$ また， $\angle PAO = \angle PAC - \angle QAC$ だから， $\angle PAO + \angle OPA$ $= \angle PAC - \angle QAC + \angle APC + \angle BPC$ $= \angle PAC + \angle APC$ $= 120^\circ$ $\angle AOP = 180^\circ - \underline{120^\circ}$ $= 60^\circ$

数学 3【実践編】

ページ	誤	正																																																				
39 ページ 類題 問題文	連続する3つの奇数では、それぞれの数の2乗に1を加えた数の和は、12の倍数であることを証明しなさい。	連続する3つの奇数では、それぞれの数を2乗した数の和に1を加えた数は、12の倍数であることを証明しなさい。																																																				
79 ページ 解答 Q	$x - 4$, $x + 6$ はそれぞれ1元1次方程式なので、 $x - 4 = 0$ を成り立たせる x の値は4のみ、 $x + 6 = 0$ を成り立たせる x の値は-6のみである。	1元1次方程式の解は1つだから、 $x - 4 = 0$ を成り立たせる x の値は4のみ、 $x + 6 = 0$ を成り立たせる x の値は-6のみである。																																																				
134 ページ 解答 2 (1),(2)	(1) <table><tr><td>x (段目)</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>...</td></tr><tr><td>y (枚)</td><td>0</td><td>1</td><td>3</td><td>5</td><td>7</td><td>...</td></tr></table> 削除 上の表から、$y = 2x - 1$ (2) <table><tr><td>x (段目)</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>...</td></tr><tr><td>y (枚)</td><td>0</td><td>1</td><td>4</td><td>9</td><td>16</td><td>...</td></tr></table> 削除 上の表から、$y = x^2$	x (段目)	0	1	2	3	4	...	y (枚)	0	1	3	5	7	...	x (段目)	0	1	2	3	4	...	y (枚)	0	1	4	9	16	...	(1) <table><tr><td>x (段目)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>...</td></tr><tr><td>y (枚)</td><td>1</td><td>3</td><td>5</td><td>7</td><td>...</td></tr></table> 上の表から、$y = 2x - 1$ (2) <table><tr><td>x (段目)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>...</td></tr><tr><td>y (枚)</td><td>1</td><td>4</td><td>9</td><td>16</td><td>...</td></tr></table> 上の表から、$y = x^2$	x (段目)	1	2	3	4	...	y (枚)	1	3	5	7	...	x (段目)	1	2	3	4	...	y (枚)	1	4	9	16	...
x (段目)	0	1	2	3	4	...																																																
y (枚)	0	1	3	5	7	...																																																
x (段目)	0	1	2	3	4	...																																																
y (枚)	0	1	4	9	16	...																																																
x (段目)	1	2	3	4	...																																																	
y (枚)	1	3	5	7	...																																																	
x (段目)	1	2	3	4	...																																																	
y (枚)	1	4	9	16	...																																																	
251 ページ 解答 2 解答 3		次の答でも正解 <u>答 約171個</u> <u>答 約375匹</u>																																																				